

研修会報告レポート③

事業名：保育所保育指針・和歌山市版ガイドブック策定事業

No.01

| | |
|--------|---|
| 開催日時 | 令和3年3月24日（水曜日）14：00～16：00 |
| 研修名 | 令和2年度（第3回）オンライン学習研修会 |
| 開催場所 | オンライン研修会（配信本部／(有)ビッグウッド集会場） |
| 出席者 | <p>■講師：馬場耕一郎 先生（東京よりオンライン出演）監修者講演 国崎 信江 先生（東京よりオンライン出演）基調講演</p> <p>■参加者：民間保育協会、公立保育所含む 計42名／園</p> <p>■事務局：和歌山市民間保育協会職員研修部（冨森先生、大林先生）、幼年機構 飯田</p> |
| 研修テーマ | 地域の特性を活かした保育の運用と地域連携について |
| 【研修概要】 | <p>1. 事務局からの報告等</p> <p>○開会の挨拶  ○本日の進め方等について </p> <p style="margin-left: 40px;">（冨森 研修部長） （幼年教育・子育て支援推進機構 飯田）</p> <p>2. 【監修者講演】馬場耕一郎 先生 （内閣府子ども・子育て本部 子ども・子育て支援担当上席政策調査員）</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: center;">   </div> <p>○『地域の特性を活かした保育の運用と地域連携について』（別添「レジュメ」参照）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域連携の必要性 <ul style="list-style-type: none"> 指針の中で、地域の実情に応じた保育を行うことが重要と明記されている <li style="text-align: center;">↓ 地域の実情を把握しておく必要がある ← 地域との関係が希薄化 ・子どもの生活の連続性を踏まえ、家庭及び地域社会と連携した保育 <ul style="list-style-type: none"> → 地域資源を積極的に活用し豊かな生活体験を図るなど保育の充実を図る <li style="text-align: center;">↓ 本事業の場合、JAわかやまの方から「袋栽培」活動の連携 ・保育所と家庭及び地域社会における生活経験が相互に密接に結びつくことが、子どもの発達を支えるために重要 <ul style="list-style-type: none"> <li style="text-align: center;">↓ 身近なところではお散歩等から始まり、有事の際の避難救護等にも繋がる ・常日頃の保育において、地域社会も視野に保育の環境を捉えるようにする意識する <ul style="list-style-type: none"> <li style="text-align: center;">↓ 地域社会を含めた中で日々の保育を実践するように心がけ、子どもが保育所の中で成長発達、興味関心を育むだけではなく、それを如何に外に向けていくかが保育の質向上に繋がっていく |

研修会報告レポート③

事業名：保育所保育指針・和歌山市版ガイドブック策定事業

No.02

| | |
|--------|---|
| 開催日時 | 令和3年3月24日（水曜日）14：00～16：00 |
| 研修名 | 令和2年度（第3回）オンライン学習研修会 |
| 開催場所 | オンライン研修会（配信本部／(有)ビッグウッド集会場） |
| 出席者 | <p>■講師：馬場耕一郎 先生（東京よりオンライン出演）監修者講演 国崎 信江 先生（東京よりオンライン出演）基調講演</p> <p>■参加者：民間保育協会、公立保育所含む 計42名／園</p> <p>■事務局：和歌山市民間保育協会職員研修部（冨森先生、大林先生）、幼年機構 飯田</p> |
| 研修テーマ | 地域の特性を活かした保育の運用と地域連携について ～園が担う防災計画 |
| 【研修概要】 | <p>・地域連携としては、災害発生後において保育所が被災者をはじめとする地域住民の生活の維持や再建を助ける等の役割を果たすこともある～公費を活用している事由 ex) 災害直後や、赤ちゃん連れ子ども連れの親子の避難場所 ～ 自前調理で炊き出しや備蓄食（おやつ等）の提供も支え＝地域連携となる</p> <p>○少子化に拍車をかけた新型コロナウイルスの影響</p> <ul style="list-style-type: none"> ・前年の出生数の減少に加え、更に2.5%減 ・5年以上早く深刻な少子化社会が顕在化 → 選ばれる時代の到来 ・何処で子育てをしたら良いか、何処の園で預けたら良いか？ → 地域との関りが重要 <p>3. 【基調講演】国崎信江 先生 （株）危機管理教育研究所 代表</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;">   </div> <p>○『園が担う防災計画と地域連携について』（別添「レジュメ」参照）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・各園で防災計画（マニュアル）作成の前に、和歌山市で統一した独自のガイドラインを作成することがポイント ・誰のためのマニュアルなのか、一人一人が見易い、分かり易いものを作ることが肝要 ・まず何をするのか、「行動フロー」の頁を最初に位置付ける <p style="text-align: center;">↓</p> <p>想定災害全ての初動の基本行動～ 予め訓練した行動と、行動と行動との繋ぎの臨機応変さも重要</p> <ul style="list-style-type: none"> ・被災した室毎の行動シミュレーションをたてておく 園長不在の際の指揮命令系統（代理となる責任者）を決めておく <p style="text-align: center;">↓</p> <p style="text-align: center;">園長の行動フローを理解し、<u>適宜判断</u>を下して指示を出す</p> <p style="text-align: center;">↑</p> <p>防災対応訓練においては、園長不在の想定で実施すると相互に検証できる</p> <ul style="list-style-type: none"> ・持ち出し品として忘れがちなのは、公印、設計図書（修理の際に必要）等 ・震災対応とともに、頻繁に起こる気象災害の対応も準備することが肝要 |

研修会報告レポート③

事業名：保育所保育指針・和歌山市版ガイドブック策定事業



No.03

| | |
|--------|---|
| 開催日時 | 令和3年3月24日（水曜日）14：00～16：00 |
| 研修名 | 令和2年度（第3回）オンライン学習研修会 |
| 開催場所 | オンライン研修会（配信本部／(有)ビッグウッド集会場） |
| 出席者 | <p>■講師：馬場耕一郎 先生（東京よりオンライン出演）監修者講演 国崎 信江 先生（東京よりオンライン出演）基調講演</p> <p>■参加者：民間保育協会、公立保育所含む 計42名／園</p> <p>■事務局：和歌山市民間保育協会職員研修部（富森先生、大林先生）、幼年機構 飯田</p> |
| 研修テーマ | 地域の特性を活かした保育の運用と地域連携について ～園が担う防災計画 |
| 【研修概要】 | <p>○子どもたちと携えていく方策の両輪</p> <p>①地球温暖化を防ぐための「保全活動」</p> <p>②災害から生き延びる術「防災教育」</p> <p>○地域の災害リスクを確認することができる ～ 防災力の向上に活かす</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ハザードマップポータルサイト（国土交通省） ・川の防災情報〈リアルタイム〉（国土交通省） <p>○災害から身を守るための備え</p> <ul style="list-style-type: none"> ・窓ガラスの震災による破損状態から、ガラス強度の重要性（合わせガラスを推奨）や破損～飛散後の処置方法（耐刃手袋やズタ袋等の掃除用品の用意）等を熟慮する ・ガラスや天井材、壁材等の非構造部材の点検 <p>○南海トラフ地震に備える</p> <ul style="list-style-type: none"> ・想定される揺れと液状化、そして津波の被害 <p>○災害後の初動</p> <ul style="list-style-type: none"> ・情報収集 ～ どのようなソースで、どこから、どのような情報を入手するのか <p style="text-align: center;">↓</p> <p style="text-align: center;">どのような情報から、何を判断し、どう指示したか？、が問われる（控訴時）</p> <p style="text-align: center;">↓</p> <p style="text-align: center;">提訴事例から学ぶことも大切</p> <p>○揺れから命を守る行動と事前対策</p> <ul style="list-style-type: none"> ・想定されている震度と訓練の内容が一致しているか十分に検証する必要がある ・震災後の安否確認と初動の行動 ・人的被害リスクが高い家具のレイアウトと対策 <ul style="list-style-type: none"> 家具の転倒防止等 ～ 固定金物、備品等の脱落防止等 ～ 粘着ジェル 災害救出（閉じこめ、下敷き）のための道具等 ～ ジャッキ、ボール、ハンマー <p style="text-align: center;">↓</p> <p style="text-align: center;">常日頃からイメージしておくことと、職員だけの災害救助訓練を行う</p> <ul style="list-style-type: none"> ・救助と応急手当 ～ クラッシュ症候群対応と処置、心肺停止と止血の処置 ・各クラスで応急処置できる技術と、応急手当の道具（救急箱）の配置が必要 ・搬送体制と搬送キット、付き添い者のマニュアルの準備 ・非常用品の準備 ～ 園児用（備蓄食品は保護者に準備させる）、保育者用 <p>○具体的な計画と、実践的な訓練</p> <ul style="list-style-type: none"> ・保護者の引取りがない場合の対処方法 → 震災後に園が何時まで対処、対応するのかを決めて周知しておく <ul style="list-style-type: none"> ～ 例えば8時間までは園、以後は公共の避難所（家族の安否）、48時間後は施設 ・地域と共に防災計画をたて訓練をする ～ 被災時の避難所の運営と園の役割 ・防災の備えと防災教育 <p>○ファーストミッションボックス（指示書）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・重要な指示事項を具体的に書いておく |

研修会報告レポート③

事業名：保育所保育指針・和歌山市版ガイドブック策定事業

No.04

| | |
|--------|--|
| 開催日時 | 令和3年3月24日（水曜日）14：00～16：00 |
| 研修名 | 令和2年度（第3回）オンライン学習研修会 |
| 開催場所 | オンライン研修会（配信本部／(有)ビッグウッド集会場） |
| 出席者 | <p>■講師；馬場耕一郎 先生（東京よりオンライン出演）監修者講演 国崎 信江 先生（東京よりオンライン出演）基調講演</p> <p>■参加者；民間保育協会、公立保育所含む 計42名／園</p> <p>■事務局；和歌山市民間保育協会職員研修部（富森先生、大林先生）、幼年機構 飯田</p> |
| 研修テーマ | 地域の特性を活かした保育の運用と地域連携について ～園が担う防災計画 |
| 【研修概要】 | <p>4. 事務連絡等</p> <p>○職員研修部からのお知らせ</p> <p>①研修記録ビデオの閲覧については、講演内容に関するエビデンス、著作権等の事由から当該研修年度の翌年度6月末迄の期間とする。</p> <p>②令和元年度（平成31年度）から始まった当該研修事業（の成果）については、継続的に積み重ねていくこととし、毎年度成果報告書（事務局 大林先生）としてまとめていくものとする。</p> <div style="text-align: right;">  </div> <p>5. 閉会の挨拶</p> <p>○本研修会においては、指針・要領等における保育の質向上を図ると共に、日常の保育における実践的なスキルを身につけることが大切であると、今回の馬場先生、国崎先生の講演から理解されたと思う。</p> <p>○この度の新型コロナウイルス感染症拡大の事由から、出生率の低下に拍車がかかり、また逆に都心からは人口流出の減少が見られるようになるとあらためて和歌山市における生活環境等の見直しが必要となってくる。</p> <p>○保育所に課せられた役割として、人口増加にも繋がる住みやすい街を目指して、子育てがしやすい環境をつくって行かなければならない。</p> <p>○来年度も引き続き馬場先生、国崎先生、すとう先生等のお力添えを頂き、本研修を続けていきたい。</p> <div style="text-align: right;">  </div> <p style="text-align: center; margin-top: 20px;">※次年度の研修会は、6月、11月、2月頃に開催を計画しているが、あらためて案内する</p> |